



## 平成25年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月11日

上場会社名 株式会社 サカタのタネ

上場取引所 東

コード番号 1377 URL <http://www.sakataseed.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 宇治田 明史

TEL 045-945-8800

四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年5月期第3四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成25年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第3四半期	33,691	6.2	1,933	△25.6	2,787	△3.0	2,532	66.8
24年5月期第3四半期	31,710	△1.0	2,597	7.6	2,872	16.3	1,517	△24.2

(注) 包括利益 25年5月期第3四半期 4,766百万円 (—%) 24年5月期第3四半期 △380百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第3四半期	56.28	—
24年5月期第3四半期	33.73	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第3四半期	87,816		75,370			85.7
24年5月期	83,496		71,494			85.5

(参考) 自己資本 25年5月期第3四半期 75,267百万円 24年5月期 71,404百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年5月期	—	10.00	—		
25年5月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,500	3.2	1,900	△25.9	2,500	△13.8	1,900	△0.2	42.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年5月期3Q	48,410,750 株	24年5月期	48,410,750 株
② 期末自己株式数	25年5月期3Q	3,402,996 株	24年5月期	3,402,122 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年5月期3Q	44,995,727 株	24年5月期3Q	45,009,195 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に関する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値に異なる結果になる可能性があります。業績予想に関連する事項については、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
25年5月期 第3四半期	33,691	1,933	2,787	2,532	56.28
24年5月期 第3四半期	31,710	2,597	2,872	1,517	33.73
増減率	6.2%	△25.6%	△3.0%	66.8%	—

当第3四半期連結累計期間（平成24年6月1日から平成25年2月28日まで）における世界経済は、米国では歳出の強制削減の影響が懸念材料として残るものの、個人消費や住宅投資などの内需が底堅く推移し、企業収益も最高益の更新が見込まれるなど、景気は緩やかに回復しつつあるとみられます。一方、欧州経済は、債務問題による緊縮財政、設備投資や個人消費の低迷などの影響からマイナス成長が拡大するなど、依然厳しい状況にあります。新興国においては、中国やブラジルなどで景気持ち直しの兆しがみられます。

わが国経済は、海外経済の減速や日中情勢の影響もあり、デフレ状態が長期化しております。しかしながら、新政府の緊急経済対策や経済再生への方針が好感され、金融市場で円安や株価上昇が進むなど、景気好転への期待が高まってきております。

当種苗業界は、国内需要は依然頭打ちの状態が続いておりますが、海外におきましては、新興国を中心に、野菜種子、花種子の需要は拡大を続けております。

このような状況のなか、当社においては、国内事業は夏の猛暑、豪雨、また秋終盤の急激な気温低下や、北日本を中心とした大雪などの天候不順が影響し、卸売、小売事業ともに厳しい状況となりました。海外卸売事業については、野菜種子、花種子の販売が好調に推移しております。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は33億691百万円（前年同期比19億80百万円、6.2%増）となりましたが、営業利益は、米国での売上原価増加や、販売費及び一般管理費の増加などにより、19億33百万円（前年同期比6億63百万円、25.6%減）と減益となりました。

経常利益は、為替差益4億20百万円（前年同期は、為替差損1億59百万円）を計上したことなどにより、27億87百万円（前年同期比85百万円、3.0%減）となりました。また、税金等調整前四半期純利益は、固定資産売却益を1億50百万円、投資有価証券売却益を6億46百万円計上したことから、34億78百万円（前年同期比7億22百万円、26.2%増）となりました。四半期純利益は、法人税、住民税及び事業税が1億75百万円、法人税等調整額が1億21百万円減少したことから、25億32百万円（前年同期比10億14百万円、66.8%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の海外連結子会社等の財務諸表（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。なお、第1四半期の連結対象期間は4－6月、第2四半期の連結対象期間は7－9月、第3四半期の連結対象期間は10－12月です。

	当第1四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
米ドル	79.31円 (80.73円)	77.61円 (76.63円)	86.58円 (77.73円)
ユーロ	98.73円 (116.79円)	100.22円 (104.04円)	114.69円 (100.68円)

注：（ ）内は前年同期の換算レート

セグメント別の業績は次のとおりです。

#### ①国内卸売事業

国内卸売事業は、昨年夏の豪雨災害や猛暑、干ばつ、またこの冬の各地での記録的な大雪や低温などが影響し、野菜種子、花種子は前年同期比減収となりました。一方、苗木、資材につきましては、好調に推移しております。

野菜種子は全般的に伸び悩んだものの、トマトの売上が続伸しました。花種子はパンジーが苦戦しましたが、新品種投入効果もありジニア、カスミソウが売上を伸ばしました。苗木は、トマト接木苗やトルコギキョウ・パンジーセル苗をはじめ、全般に順調に売上を伸ばし、また資材についても高機能液肥、プラントプラグ、園芸農薬、ハウス資材などが好調で、前年同期比増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比52百万円(同0.4%)減の118億32百万円となり、営業利益は同比2億67百万円(同5.3%)減の48億7百万円となりました。

#### ②海外卸売事業

現地通貨での伸びに加え、昨年末からの円安の影響もあり、それぞれの地域の売上は大きく増収となっております。まず、地域別の状況をみますと、アジア向け輸出は、ニンジンの売上が大幅増となった結果、前年同期比増収となりました。北米では、野菜種子を中心に売上が順調に伸びましたが、天候不順による種子生産の落ち込みで、生産コストが増加し、厳しい損益状況となりました。一方、欧州につきましては、野菜種子、花種子がともに好調に推移し、前年同期比増収になりました。また、南米においても、野菜種子の売上が伸び、前年同期比増収となりました。

品目別では、野菜種子は、ブロッコリー、トマト、カボチャ、ニンジンなどが好調だったことから、前年同期比増収となりました。花種子は、南米、アジア向け輸出が減収となったものの、北米ではカンパニュラ、パンジー、欧州においては、トルコギキョウ、パンジー、プリムラなどが順調に売上を伸ばし、前年同期比増収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比22億98百万円(同18.4%)増の147億96百万円となりましたが、営業利益は、北米での生産コストの増加や各地域での販売費及び一般管理費の増加などもあり、同比12百万円(同0.5%)増の24億72百万円にとどまりました。

#### ③小売事業

ホームガーデン分野は、昨年の夏から秋への猛暑と11月以降の急激な気温低下の影響により、秋の園芸シーズンが例年に比べおよそ1ヶ月短くなったことや、年末から2月にかけての豪雪や低温などの影響もあり、園芸資材、草花苗、草花小袋を中心に売上が減少し、前年同期比減収となりました。

通信販売分野は、秋植球根、花木苗などは月刊誌の新規企画が功を奏し順調に伸びたものの、農園芸資材などが低調に推移し、前年同期比減収となりました。

ガーデンセンターでは、厳しい天候が続いたことに加え、前期に伸びた緑のカーテン関連商品や法人向けプレミアム絵袋種子の売上が減少したこと、また店舗改装工事期間中の一時休店などがあり、前年同期比減収となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比2億81百万円(同4.0%)減の68億10百万円となり、営業損益は同比1億65百万円悪化し、4億38百万円の損失(前年同期は2億73百万円の営業損失)を計上しました。

#### ④その他事業

造園分野では、民間工事や緑花花壇工事が前期実績に比べ増加したことなどから、前年同期比増収となりました。

この結果、売上高は、前年同期比15百万円(同6.5%)増の2億51百万円となりましたが、営業費用も増加し、営業損益は53百万円の損失(前年同期は47百万円の営業損失)とほぼ前年同期比横這いとなりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報  
(連結財政状態)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減
総資産(百万円)	83,496	87,816	4,319
純資産(百万円)	71,494	75,370	3,876
自己資本比率	85.5%	85.7%	—
1株当たり純資産(円)	1,586.47	1,672.33	85.86
借入金の残高(百万円)	1,826	2,040	213

## ①資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ43億19百万円増加し、878億16百万円となりました。これは現金預金が19億円、たな卸資産が27億16百万円、投資有価証券が14億88百万円増加し、受取手形及び売掛金が17億13百万円減少したことによるものです。

## ②負債の部

負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億42百万円増加し、124億45百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が1億38百万円、未払法人税等5億73百万円、長短借入金が2億13百万円増加し、その他流動負債が5億39百万円減少したことによるものです。

## ③純資産の部

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ38億76百万円増加し、753億70百万円となりました。これは主に利益剰余金が16億32百万円、その他有価証券評価差額金が16億5百万円、為替換算調整勘定が6億26百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の85.5%から85.7%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月期の連結業績予想につきましては、平成25年1月15日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(税金費用の計算)

当社及び主たる国内連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,659	15,559
受取手形及び売掛金	12,707	10,993
商品及び製品	16,003	18,156
仕掛品	1,137	1,200
原材料及び貯蔵品	1,849	2,128
未成工事支出金	25	247
繰延税金資産	1,132	1,344
その他	2,067	2,125
貸倒引当金	△307	△393
流動資産合計	48,275	51,362
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,210	26,449
減価償却累計額	△16,361	△16,756
建物及び構築物(純額)	9,849	9,692
機械装置及び運搬具	8,882	9,382
減価償却累計額	△7,197	△7,553
機械装置及び運搬具(純額)	1,685	1,828
土地	13,859	13,943
建設仮勘定	315	524
その他	2,498	2,614
減価償却累計額	△2,022	△2,144
その他(純額)	476	470
有形固定資産合計	26,186	26,459
無形固定資産		
投資その他の資産	894	798
投資有価証券	7,089	8,578
長期貸付金	176	161
繰延税金資産	480	124
その他	565	536
貸倒引当金	△171	△204
投資その他の資産合計	8,140	9,195
固定資産合計	35,221	36,453
資産合計	83,496	87,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,154	3,292
短期借入金	1,700	1,130
未払法人税等	329	903
繰延税金負債	28	49
役員賞与引当金	9	—
その他	3,891	3,352
流動負債合計	9,115	8,729
固定負債		
長期借入金	125	909
繰延税金負債	56	149
退職給付引当金	1,464	1,466
役員退職慰労引当金	417	451
負ののれん	2	1
その他	820	737
固定負債合計	2,887	3,715
負債合計	12,002	12,445
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	13,500	13,500
資本剰余金	10,823	10,823
利益剰余金	56,640	58,272
自己株式	△4,467	△4,468
株主資本合計	76,495	78,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	1,598
為替換算調整勘定	△5,083	△4,457
その他の包括利益累計額合計	△5,091	△2,859
少数株主持分	89	103
純資産合計	71,494	75,370
負債純資産合計	83,496	87,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成25年2月28日)
売上高	31,710	33,691
売上原価	14,950	16,207
売上総利益	16,760	17,483
販売費及び一般管理費	14,163	15,549
営業利益	2,597	1,933
営業外収益		
受取利息	96	83
受取配当金	195	179
受取賃貸料	153	162
負ののれん償却額	1	1
為替差益	—	420
その他	60	70
営業外収益合計	506	917
営業外費用		
支払利息	46	39
為替差損	159	—
その他	24	24
営業外費用合計	230	63
経常利益	2,872	2,787
特別利益		
固定資産売却益	14	150
投資有価証券売却益	—	646
特別利益合計	14	796
特別損失		
減損損失	91	80
その他	39	24
特別損失合計	131	105
税金等調整前四半期純利益	2,756	3,478
法人税、住民税及び事業税	1,232	1,057
法人税等調整額	4	△116
法人税等合計	1,236	940
少数株主損益調整前四半期純利益	1,519	2,537
少数株主利益	1	5
四半期純利益	1,517	2,532

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成24年2月29日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,519	2,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147	1,605
為替換算調整勘定	△2,046	623
その他の包括利益合計	△1,899	2,228
四半期包括利益	△380	4,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△382	4,764
少数株主に係る四半期包括利益	2	2

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成24年2月29日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,885	12,498	7,091	31,475	235	31,710	—	31,710
セグメント間の内部売上高又は振替高	338	539	0	878	91	970	△970	—
計	12,223	13,037	7,092	32,353	327	32,681	△970	31,710
セグメント利益又は損失(△)	5,075	2,459	△273	7,262	△47	7,214	△4,617	2,597

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、保険代理店業務、人材派遣業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,617百万円には、セグメント間取引消去52百万円、棚卸資産の調整額116百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,786百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成25年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,832	14,796	6,810	33,439	251	33,691	—	33,691
セグメント間の内部売上高又は振替高	408	771	1	1,181	73	1,255	△1,255	—
計	12,241	15,568	6,811	34,621	324	34,946	△1,255	33,691
セグメント利益又は損失(△)	4,807	2,472	△438	6,841	△53	6,787	△4,853	1,933

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、保険代理店業務、人材派遣業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△4,853百万円には、セグメント間取引消去54百万円、棚卸資産の調整額23百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,931百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。